

## 運行上の課題について（スクールバス）

### 1. 経費負担及び代替車両について

従前より、受託業者と委託者の間で、バス修繕の際の経費負担及び代替車両の用意について、見解の相違があった。

#### 委託者(鮭川村)の考え

- 定期的な車検やそれに伴う修繕の際、委託者が費用負担及び代替車両を準備するのは、理解できる。
- 運転手の不注意等でバス修繕が必要となった場合、修繕費用及び代替車両は、受託業者で全て用意すべきと考える。

#### 受託者の考え

- 委託料は、基本的に人件費のみの委託料である。そのため、保険料や修繕費用は計上していない。修繕費用を負担すれば、赤字となってしまう。よって、委託者でご対応頂きたい。

上記の件については、現受託業者と事前に協議し、下記の方法であれば対応可能との回答があった。

- 別途保険料・修繕料等を上乗せした契約額であれば可能。その場合、修繕依頼業者は、受託者になるべく安い所に依頼する。もちろん、村内業者を優先するが、大規模な修繕の場合は、直接工場に依頼することとなる。

### 2. 児童生徒数の増加

- 鮭川村では、今後児童生徒数の増加が見込まれる。よって、児童生徒の増にあわせたスクールバスの運行計画を策定する必要がある。
- 今後の児童生徒増加に対応するため、令和3年度中にマイクロバス29人乗りを、マイクロバス33人乗りへ更新する。

#### 【児童生徒数の推移】

	R2	R3	R4	R5	R6
小学校	170	179	189	173	169
中学校	71	72	73	79	89
合計	241	251	262	252	258

### 3. バスの経年劣化

- 現在、保有するバスの多くが、経年劣化により更新時期となる。車両の状況を把握しながら、随時更新を実施していく。